

量的指標の評価

- ・世帯視聴率は前年同期、前期と比べて同程度を維持している。総合テレビとBS1の接触者率はFIFAワールドカップがあった前年同期に及ばず、EテレとBSプレミアムも低下した。
- ・インターネットサービスでは、「統一地方選挙」関連コンテンツなどへのアクセスが多く、前期と比べて訪問者数が増加した。

接触者率(%) (個人)

	総合テレビ			Eテレ			BS1			BSプレミアム		
	前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期
リアルタイム	67.0	65.4	65.7	33.6	33.0	30.6	19.5	14.1	15.9	19.8	17.8	17.3
総合リーチ	69.4	67.6	68.5	37.6	36.8	34.1	19.9	14.7	16.6	22.8	21.1	20.7

「リアルタイム」は、5分以上の継続視聴での接触者率。「総合リーチ」は、「リアルタイム」あるいは放送から7日間以内での5分以上の継続再生による視聴での接触者率。 出所) ビデオリサーチ

世帯視聴率(%)

		総合テレビ			Eテレ			BS1			BSプレミアム		
		前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期	前年同期	前期	今期
6:00 - 24:00	リアルタイム視聴率	5.9	6.4	6.2	1.0	0.9	0.9	0.8	0.4	0.6	0.8	0.7	0.7
	総合視聴率	6.1	6.7	6.4	1.1	1.0	1.0	0.8	0.4	0.6	0.9	0.8	0.9
6:00 - 10:00	リアルタイム視聴率	8.3	8.7	9.1	1.7	1.5	1.6	0.7	0.3	0.5	1.2	1.0	1.2
	総合視聴率	8.6	9.0	9.5	1.9	1.7	1.7	0.7	0.3	0.5	1.2	1.1	1.3
19:00 - 22:00	リアルタイム視聴率	9.7	10.3	10.1	0.7	0.6	0.6	0.8	0.5	0.7	1.1	0.9	0.9
	総合視聴率	10.3	10.9	10.6	0.8	0.7	0.8	0.9	0.5	0.7	1.4	1.1	1.2
19:00 - 23:00	リアルタイム視聴率	8.6	8.8	8.8	0.7	0.6	0.6	0.8	0.5	0.6	1.0	0.8	0.8
	総合視聴率	9.2	9.4	9.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	1.3	1.1	1.1

「総合視聴率」は、リアルタイムあるいはタイムシフトのいずれかでの視聴率。 出所) ビデオリサーチ

インターネット全体(NHKオンライン)の量

接触者率	14.9% (16.0%)	訪問者数	15,379,566 (14,888,767)
------	------------------	------	----------------------------

「訪問者数」は、各サービス(NHKオンラインには「らじる★らじる」以外のアプリを含む)の毎週の訪問者数の四半期平均。()は、前期の結果。NHKオンラインは、NHK WORLD - JAPAN ONLINEを含む。

出所) 接触者率: 2019年6月 トータルリーチ調査(web調査 20-60代 関東)、訪問者数: Adobe Analytics

(参考) その他サービス

放送同時配信の訪問者数計(※)	2,818,797 (755,720)
放送関連リアルタイム配信の訪問者数計(※)	11,339,539 (7,921,743)

※日別訪問者数の四半期合計

「放送同時配信」は、放送と同時に当該番組をインターネットで配信するもの。「放送関連リアルタイム配信」は、放送番組に関連する映像や音声等を、放送とは別に、リアルタイムでインターネットで配信するもの。()は、前期の結果。

出所) 接触者率: 2019年6月 トータルリーチ調査(web調査 20-60代 関東)、訪問者数: Adobe Analytics

	接触者率	訪問者数
らじる★らじる	7.8% (一※1)	941,719 (900,045)
NHK WORLD - JAPAN ONLINE		760,404 (1,287,966)
NHKオンデマンド	接触者率	登録会員数 (※2)
	6.6% (7.2%)	約254万人

※1「らじる★らじる」の接触方法の設問を変更
※2 外部提供事業者を除く6月末会員数

中央番組審議会の意見

総合テレビは多くの視聴者が接する波として「9. わくわく・ドキドキする」の指標を高めるよう中長期的な目標とし努力してもらいたいとの意見が出された。また、インターネットサービスについて、「F I F A ワールドカップ」があった昨年の同時期や前期と比較すると、大きなイベントがなかったために今期は滞在時間が減少しているが、平常時でも滞在時間を増やしていくコンテンツの充実を図ってもらいたいとの意見が出された。